リンチ（戯曲）

羽鳥ヨダ嘉郎

第20回 AAF戯曲賞
Aichi Arts Foundation Drama Award

1

あなたにみられている必要はない。耳の頭の上が平面につく。

素人　脱ぐには？　というのも、力を入れたことがないんです、私は。でも入れられますか？

お袋　鳥肌が立っていたらどんなにいいだろう。毛に運ばれることができるのだから。襟首をつかんでほしい。人が寝ているのを見たことがないし、私とは似ていないだろう。

胃に刺さっているチューブを見る人は痛い。

素人　痛がられている……。

殴った日に（そういう日があれば）、歩けていた人たちだ。突き出しも弧を描きもしない、向きを限れば横なぐりといわれるような連動。そういう肩がある、あると命ずる。ないと思いたくない。

帰ってもらえる。

素人　カーテンが、外に出て来てた。（強く）風にされたことを言ってみろ、それは同時か？

お袋　……季節はずれだから。

恒久的な求めについて素人は考えたことがなく「長いって！」というだけ「経年してるじゃん！」だけであり何かに加入している、入っていない部分が考える。風呂である。

お袋　茹でピーナツの殻を足下に捨てるようなじっとりと気持ちいいのがこの人にはないと思われていると思う。私を使って思っている。（手袋が粘膜に触れる。）この「樹皮」で押し切られたのはポル・ポト派以外の首、ローターリー通るたび違う人が痛がるの思うがそれをしている私で、皮はいで食べたからとも言われている。煮てよという。今そうでない——でも食べたのだろう。私に加えられたものらによってこうなっていることは疑いえない。ぶちこまれた。オレの脚のよじれ（スクリュー）も跡たち。（傍目には）静かね。

素人　（お前に島のことがわかるわけがない。）

お袋　葉を引かないで！

聴いているのは鼾だけだ。

お袋　汗をもらえない所与のストレッチ、時に倒れて息が詰まる、顎を押し上げ抑えつけられる。雨だけが私を割る。

素人　黄水つく、黄水つく。

お袋　私はまつげ立っていてほしい、それ以外はまっすぐの毛ない。こうした行為のために生きさせられている人は刹那的ではない。

素人　……嘔吐バックス、……タハッ！

お袋　目に入らないだけでいいのに。

間。

お袋　目に入ったり入らなかったりしたい。計器（ケーキ）だってそうでは。

間。

お袋　裸眼のイメージ。アクビしたさが舌の上にたまっている。……たまたま考えてて

それが確かめられない……。感覚は思い出すためにあるのではない……。牛脂同士の、霜降り同士のキス……。夢の中に蚊の群れ。

瞬きした心を繰り返し持つが、点眼が断続化する。

お袋　子どもの頃から、寝ていると口が開いてしまうので布をそこまで上げたいと思っています。

素人　動く仕切りだ～……。動かない仕切りだ。

お袋　……腑分けしようがない、肉かもしれない。痛み、座りのわるさが私の外延。だるさ。左前歯ぎしった感触。

素人　組ましてあげるよ。

お袋　有り難い……。

その都度、下半身は別モノになる。

素人　セッ

間。

素人　私が体への負担減らすのに言う。
お袋　（何を言っているのかわからない）

和船がくる。

お袋　（持ち上がっていく右腰）
素人　体力を落とさないように……。

夜を見る日。

素人　お触れがあり、また外に出す。年齢ひとつでペアと思われる、そのことに嫌気がさしている場合は、できるなら位置どりを工夫する。子どもたちはお互いを見つめながら走り回って、増えたり減ったり背が大きな者がいたりした。

思うことは、安田おどり。大日本翼賛安田村壮年団文化演劇隊、空井健二（のち、勤労芸能研究会地方連絡員）の持ち込んだ火はどのようにあって踊りをあらしめたか。

お袋　六〇コ上だから、ポル・ポトが十六才くらいのとき、青年団の演劇部のリーダーが構成して復活させた踊り。八月半ばに小豆島で、校庭で祭壇の前に整列して、遠く墓前から聖火のように、村長と僧侶が松明を護持してくる。手踊りで男女で、違う振りを違う場所で踊る（が少女歌劇にもなった）。

和船が「神ながらの道」顕現のため、とささやく。みな泣く。現地の女はそれを踊れなかったのに。

お袋　少女歌劇になったときの背景は寒霞渓とその空井はいう。

絵が来ちゃう。

お袋　関西学院卒の空井は、農村演劇の先駆者、松田の本を読んでいる。主宰する最上協働村塾の、長期第一回生に松田が修了証として渡したのは、農奴の男女の絵。裏には樗牛によるキャプションを写し、額に入れて部屋に飾れ、と言った。画面は壁に面した。踊りの十年前の夏、原画は四振り切り裂かれた、仏国。二ヶ月先んじてダリの前にイメージが立ち現れはじめた。樗牛は農夫についてしか語らな

いが、その妻は差し迫った性的攻撃に向けてカマキリのように停止しているという。

絵が来ちゃう。

お袋　一日の業を了りたる、若き農夫とその妻と、今方に家路に就かむとする時、エンヂェラスの祈祷を告ぐる夕べの鐘の音ひゞきわたりぬ。二人は頭を垂れて無言のいのりを捧げぬ。地には平和あり。天には光あり。汝の短き日の何時かは暮れむ時、而してエンヂェラスの祈祷の鐘の汝の晩年に響かむ時、其の心果して是の若き農夫の如く安きを得べしとするか。皇国農民の本領を全うすべし。（見て）芸人が手ずから……。

待っていた人が去る。

お袋　……子どもの服の色で連れている人をおぼえていて、でも、だから誰も、私には同時というものはなかった、それに、思い出すというのは低い。

素人　あ、機能に困ってる？　入管いく？（間）（ストリングス）　入管いく？

お袋　とるの

素人　うん？（そうじゃないとな、外でやってるもんな、アホになる）

お袋　とるの？

素人　うーんん、ん……ジェネ、ラル、ジェネ、スト、ジェネスト……（ハンディな消毒スプレーのフタをつまんで、そのすぐ横のもう片手で手袋の首を持ってぶらつかせてみせている）

お袋　（一抹の苦味。酸味と塩味は出せるし、）じぶんで

継立でお見舞いする。

お袋　魔除けの顔をしてくれない、目を見ひらいて歯をむき出して、横棒をくわえてもいい。なるべく沢山。……うちはプールにします？　なんでぇ!?

素人　どうぞ触っていって。

お袋　歯ぐきにかみそり垂直にあててこしおろす。よりたやすい行為

素人　（聞いていないように見える）

お袋　……モーターしか知らん、鳴くもんは踏みたい、踏みたい、追いたいよう、追いたいよう。

重かれ軽かれ湯に入れれる。風呂である。

お袋　排水口とつながって満ちている！
素人　（……寝てる？）……クジらいでか……。
お袋　ああ、水が、入っている、入っている。

ロールカーテンの隙間にねじ入れた指二本をちろちろと動かし人を呼ぶ（ことがある）。細かい裂傷が人差し指と中指の脇にはついているのだろう、固かった感触はある。

素人　はい、はい、元気？　うん、いいよ、いいよ

プラスチックのきしむ音。

素人　刻んだげるし、脇は空いてるし、
お袋　すするのに動員する……。
素人　爪も、脱爪しておけばよかったねえ。
お袋　……。
素人　微笑と思えなくもない。今いる場所の高さも知らない。
お袋　……（空井は）聖火をなにで見たんだろう……。

素人　……暑いな、冷やそう。

間。

素人　また熱(ねっ)そう。

間。

素人　冷やそう。

間。

素人　熱そう。

間。

素人　冷やそう。

間。

お袋　内圧が減って世界が輝く……。
素人　あっ足湯の箱を蹴ってしまった
お袋　……金網を泳いで……コリアン・ガス（唐辛子粉のこと）を……。一体が、枝々の上に置かれたような感じが、します……。

長い間。

お袋　……私だって骨を拾った。他の人が踏まないように、公園の道の端に置けと、オーディオガイド……。……起動しない。同じ言動でも夢が続かない。……ポリ（ティク）・ポテンシャール……。
和船　あの男が目薬をさしたら窓が濡れた。
お袋　いたの

お袋は目線で語るときがある（ようになっている。文字盤があってもよい）。

和船　免税店でこれ、ね。ビーズの消臭剤。

お袋　……。
和船　ショキショキ、ね。
お袋　……。足を折りたい、腰を折りたい。
和船　……。
お袋　あれは
和船　……ああ、申請しておきましたよ……。
お袋　手が見たい、と言い換えて右腕を動かしてもらう。ついで左手も。曲がった四本の指。引っ掛けたり載せたり挟んだりされることになる。透明なプラスチックの支柱がつくかもしれない、テグスではあるまい。
和船　（槍投げの振りかぶり）練習してみたいなーと思って最近。もう遅いか。
お袋　……。
和船　でも使えるかもしれないなとも。
お袋　……。
和船　掻いてあげよう。

和船がお袋を掻く。手は戻す。

お袋　掻かれた跡は当分あかるい。

蝉が鳴いていた。
鳥がうすれていく。

お袋

右足の人指し指、中指、薬指の三本を使ってとても小さいつららをつかんだように思っているとやや熱いおならが少し出て、性器を包む。左脚の踵の下に籐の枕を置いてもらったもんで膝が張るとともに腰につながる身体が右向きになる。このように崩してもらうと不随意のテンション（かえし）を延々感じずにすむ。戻され、万一膝が立てられたならば（そういうベッドなので）、右股関節のテンションは強烈なものになっているだろうが。いって私の粘りは私だけ。水は自分が粘ってるって思わないと思うけど私は思う。私は粘っている。たぶんもうすぐ血が出る。周期という考えを捨てながらその日を待つ、奪取の日を。

口ぬらし。その後、スモーク。

和船

無印のデフューザーで蒸留酒を発散するとすぐ急性アルコール中毒になるって読んだ。

スモーク激しく（音が）。

休憩（休憩らしい休憩）

再開

素人　われわれは見た。太陽が明るいのとまったく関係なく地面が明るいのと同じだ。
……いや持ち重りするって、ストレッチャーいるって。

お袋が来る。グゥン（してみないと発音できないので、以下＊＊）が体験に来ている。

＊＊　（バイリンガルである）給餌、食事、きゅうに、（痛そうにする）
野次　寝ションベンたれは自民ではねえ！
＊＊　……わたし美術館。（クルッ）
お袋　？
＊＊　ごあんなーいするよ。
お袋　……。

何かを見せている。

お袋　中央で窓枠を持って右奥に進もうとしている電車のような男は、その枠に冠をした鳥たちをとまらせているが影がとてつもなく小さい。彼よりも鳥よりも。彼の帽子よりも。枠なら影は取り込まない、覆わない。そうだ。船舶だから遊泳ではないというのだ。枠を浮かべて。すばらしかった。川面で踊った。すばらしかったから思いだす。それはいい。でも今よくないと思いそうになる。数え入れ続けなければ。組織しなければ。すわりの悪さを組織しなければ！（それと同時にマイルストーンも置かないと）

＊＊

お袋　爪がパリパリだね。

＊＊　あなたのしまはなにおおいの

お袋　風と石と女

3できないだな

笑う。熱いタオルである。もう風呂ではない。

お袋　相変わらず見せ、嗅がせ、触らせてくる。

素人　小さいシャワーは？　小さいシャワー。

お袋　……。

＊＊　……。

素人　舌がかゆいと気もちいいというのは誰でも知っているでしょう。

＊＊　はい、でも……。

左向きであった。

お袋　……返上されたのは踊りの四年前。でも聖火は流行った。なにで見たんだろう……。

まだ絵は来ない（さっきの船の絵もない）。

お袋　穴どもの違和感は大きすぎる。穴のまわりはさらに避けられる、汚れる、こわい。

＊＊　こわい？

お袋　……この、この、一度じゃなさ！

素人　島のことが、わかるわけがない（岩だから）。わざとかゆくしますね～。

間。

お袋　管（くだ）自体のテンション、いきたさがあり、私をほどきそうだ。

＊＊

お袋　……まばたきが前髪にあたるなぁ……。

……続かない、気散じだけが続いていく、違う、違うか、気が散り、気が散り続け、私が、私、……ほどけてしまったら何にもならないの、尾てい骨かゆい、うう、不随意筋の、名前……。

素人　膝関節を持って

＊＊

素人　はい

私はあなたの間（ま）を仕方がないものと思っていますよ

＊＊

お袋　はい

耳の下側の音が、潮のように引きずらない以上、私は出ていけない。鼓膜の圧として話し声。ほぼ未練であるポップスに、ヒットするや否や支配されるから、慎重に別のことを考える。聖火は来た。領土から領土へ。のち、ほとんどの新人民軍兵士は鍼が打てる。弾みを与える（という歌詞を含んだ曲が聴こえる）。旗を、袖を、胴をふり、五酸化二燐の白煙を見送る。分火して合火する。煙は肥料である。媒介がスキャンするというのは、媒介自体がスキャンするというのは、本当にモダンだね、と言えるだろう。あの手から奪われた火でなければ意味がないと、通らなくても主張はさせなければいけない。見上げている限り奥行きは分からないが、まぶしさはあり、いぶされもする。ソフトターゲットである、そんな、私です……。く、か、火炎瓶を与えるのではなく、聖火を持ち帰ろう！　この手は危

険であってやる。段ボール剥ぐように治る、ことなくても。ロックトインしても。
奪われるための手。私がどうして、いるかわかりますか。レガシーのためです。
頭皮からの蒸気でサングラスがくもる。教則ビデオ見せられる。逆らえないのに。

捻髪音がする。

お袋　私のあなたにとってのゴキブリがいる。近付いている。
＊＊　水入ってた（間違ってた）！　水入ってた（間違ってた）！
素人　まぶたを開けなくては。

和船が来る。

お袋　しばって

長い間。

お袋　私がいないのに火だけ新たにして再開する訳にはいかないでしょう。
和船　いくよ。

お袋　……何をとっておけばいいの。

わかりきったことの間。

お袋　おしえね

スモーク。

＊＊

……等身大の合板で圧迫されるって……。加湿器殺菌剤はこの世でその半島の南側でだけ許されていたのです。コンプライアンスが下がっていって、肺が繊維になる（間質性肺疾患）、客船、家の中の、歳月、……等身大の合板で圧迫されるって……。合板そのものが……。

ちょっとした休憩

再開

素人　チューブを降りろ！

間。

お袋　起きている（何かが）。ふくらはぎに血がいくたび腰が左に揺れる、いや膨れてるのか、中が。

素人　食指がうごくってわかる？

＊＊　はい、

素人　注ぐのも食事のうちっていうかね、

＊＊　はい

素人　注いでくれる？

＊＊　はい

素人　あと飯食ってるときに胃袋の中身想像させないで。

＊＊　は

お袋　私から流れ下りた。

＊＊
お袋　……。
＊＊
お袋　集まり、を抱えている。上に拡がっているのか。
＊＊
お袋　……。
＊＊
お袋　処理される。次いでゆるやかに棒でなくする時間が来る（動かされる）。
＊＊
お袋　……あとは、たまに立てて、顎関節症に気をつけて……。

暑い。

お袋　暑い。どこかにマスタード・ガス（きい剤）が埋まっているのか推測したときの匂い。永暑礁？　吐かれた砂を着るキツネ……。顔が燃えながら飛んでいる人……。モーターが近付いたのでうるさい。
＊＊
和船　歩ける床？　動く歩道で行きましょう。
お袋　搬入さんだねコリャ
私の底以外は集中がない。もう畳まれでない、擦れてか溝に気付くことはあるが、組成の可動域だけでなかったシワはもうないようだ……。
＊＊
お袋　とけちゃいそう
……コブは？　……東の（ガタン）、次の、聖火で、聖火の沿道は、島のソテツで飾られてあった……。生えているのか？（総務長官）

＊＊
和船　輝いていると思う炎はどんなものですか？
お袋　……炭素だろう。
　　……約束が守られるのかもしれない。

　　絵が来ちゃう。

和船　風だ。
お袋　……稲穂拾いてかりがね二つ夕暮れどきの涼しさに……。……夕暮れ……？
＊＊
お袋　角（カド）を渡る時、下には何も、ない。
　　うすく血の気がどこかに引く。……このように痛むことでシクシクという言葉がやってくる。いつかが到来するのではない。そのとき視界は問わない。
和船　背中に小さい人間が……。
お袋　（わたし）転んだ！　転んだ！　わはははははは。あ痛……。揺れだわ……。
和船　……人数も多くなるしな……。
お袋　かけられる声はかけられる声だわ……。
＊＊
　　運ぶさまが見られるんだ。

暑い。

＊＊

お袋　風の能動性を感じる？

……吹き込むとするか……。でも触られは同時にあるの。今されているのとちがわない。何を思っても。どうぞ。

とても長い間。

和船　ここに火が来ます。

お袋　私はもう走っている。ロールしている。目を開けていられない。見ている人がいる私が歴史業者によって中継される。無色のミートボールが口のなかにある。タニシを食べるときはまず先っぽを噛みちぎる。空気穴と、私は、帰ってきている。何かが一せいな気がする。奪わせてみせる。奪わせてみせる。みんなの首の上に平面がある。

野次　あなたに与えられたのはすべて他のものだ。ヤシはソテツではない。霧は彫刻である。そうさせる。

（再演時に適宜書き換えるほか、以下の文言を付け加えても構わない。

長い間。

素人　火はゆく。当のもののかわりに及んでいく。盛り上がりに手をつく。夜には壁の中で、並んで酸欠になれる。沢山笑う。煙の少ない火種が、ありがたい。）

終了

特に参考にした箇所のある文献

石原慎太郎、野田数「尖閣侵犯再び！――石原慎太郎「日本は戦争の覚悟を示せ」」PRESIDENT ２０１２年９月17日号

イン，ナムグン「加湿器殺菌剤で95人死亡。韓国で起きた「家の中のセウォル号」事件とは」ハフポスト日本版、２０１７年5月5日18時12分更新（最終閲覧日：２０１９年９月21日）https://www.huffingtonpost.jp/namkoong-ihn/reckitt-benckiser-korea_b_9837074.html

金城達也、寺林暁良「徳之島の生業複合から「ソテツ地獄」を問いなおす――構築された歴史観と地域社会の歴史認識のズレ」『地域文化論叢』15、２０１３年
草野成郎『それは東京五輪の「聖火」から始まった――天然ガス時代を拓く』エネルギーフォーラム、２０１４年
佐藤光雄『燐が燃えたまちヒロシマ――被爆60周年』本の泉社、２００４年
瀬川将宏「国立ハンセン病療養所医療従事者フィリピン研修に参加して」『ふれあい福祉だより』15、ふれあい福祉協会、２０１８年
空井健二「小豆島安田村の演劇運動」（「文化運動資料 第一輯」大政翼賛会文化部、１９４３年）『資料集 総力戦と文化』1、大月書店、２０００年
高山樗牛「晩鐘」『樗牛全集』第6巻、博文館、１９３１年
ダリ，サルバドール『ミレー《晩鐘》の悲劇的神話――「パラノイア的＝批判的」解釈』鈴木雅雄訳、人文書院、２００３年
中屋幸吉「東京オリンピック聖火の沖縄入りに現象した沖縄人の復帰意識について」『名前よ立って歩け』三一書房、１９７２年
浜田幸絵「戦前期日本における聖火リレー――一九六四年東京オリンピック再考の手がかりとして」『メディア史研究』28、２０１０年
前田芳之「国境を越えるソテツ」『ソテツをみなおす――奄美・沖縄の蘇鉄文化誌』ボーダーインク、２０１５年

松田甚次郎『土に叫ぶ――愛郷愛土』羽田書店、１９３８年
村田健司、伊藤啓太、川野誠、鹿住孝「オリンピック用の聖火トーチの開発――ルーツは１９６４年に開催の東京オリンピック」『火薬と保安』51（1）、２０１９年
横井庄一『もっと困れ！――横井庄一のサバイバル極意書』小学館、１９８４年
「香川県安田村翼賛壮年団」『団運営の実際』3、大日本翼賛壮年団、１９４３年
『小豆島民俗芸能調査報告書』香川県教育委員会、１９７４年
『ふるさと安田――戦後の歩み』戦後の安田誌編集委員会、２００６年

7頁にて、高山樗牛「晩鐘」を複数の版から混淆して引用しています。

2

この女子寮襲撃をマンチュリアと呼びます。ハンカチを振っている人は大変であります。引き抜いてもらって、

お袋　うっ……。

襲撃者たちをレッドアーミーと称します。十年後に、この六ヵ月後に詠まれた歌をもって来たがられます。影が落ち（醤油が加えられ）ます。放水所（炊事場の海軍呼び）。

お袋　丸い脚

素人　エヒヒ

椅子の背の斜面が横向きに迫ってきます。長いテーブルをはさんで、立っている側に、

お袋　献血サウナ、キメてビールしようね。透明で黄色（きいれ）ー血よ。

素人　ウン
お袋　保火可楽（ボゥーホーラ）（沸かしたコーラ）くだ、さい
素人　ウン

吸えます（ほかはできない）。非合意をよしとする人たちに委ねられますが、

お袋　短い言葉の斗争に勝たなきゃ達せられな（い）
素人　ナぁニ？
お袋　いや、いや、ヒゲ、増えた、減った？
素人　トイレ

初めて見る便器でしょう。立ったまま、

素人　……頭がパパイヤになる……。……肌が荒れたことがある牛……。
お袋　弱含み……。
素人　頬骨と肉のあいだ右左痛む。拍にあわせて視界が薄く白む。タトゥーの入っている島の、私の体温の池……。

見えています。

お袋　（その池では私は感じないだろう）

素人　右肺に青くガスの刷毛

間。

お袋　煮物が

素人　ウン

鳥のけんかです。ニワトリだとうれしそうです。

お袋　（すっかり興奮して）つたいたい。ノリ・メ・タンヘレ（我に触れるな）よ（笑）体感温度はどこにある、どこにある……。バナナは利尿剤……。何を着てると思う？　私の多機能……。そちらに表面を生む、とこちらは内感（ばかりである）こと）際立つ。ああ水かき！　あなたがここに何を見ているのか……。移行する慰めのクチ……。

素人　……事後だった。……自立したかったらここに来たんだわ……。

お袋　鉄管ビールは？
素人　……飲み飲みしてるうちに変わってしまって、土地のリボンがかかっている。私たちは想像の20倍厚い

　握雪音がします。関所が来ます。ここからはさらに明るくて、帰してくれますし、向うにテントであるところの赤十字（赤新月、赤水晶）、便乗したライオンズクラブが見えるでしょう。

素人　あなたのハムのような曇り。私にはできない時と場所
お袋　来るときは同じだよ……。
素人　溝を手小指先で越えられる、その溝がどいつにもある、そのことを嫌悪する、まつ毛の上に土色のものが乗っている、私のテラス、私のテラス！
関所　ホーイホイ
素人　豚、呼んでる
お袋　食べさせてる。くさいくさい、ほしいものがくさいです
素人　肉がパパイヤになる（条虫の卵で）……。

　間。畑仕事は這うことです。鶏（カシワ）の鳴くまで、

お袋　細くかじったバナナで耳穴ねらわれてる、肺はまだふくらめる、……私を何かが進む。これが時間でさえあったなら！　海中が白く濁っていたのはどこ（乳で）、ほら可能なすべての勢いをだして……！　……（あいつ）ゴロール（小豆島）（いた）って？

素人　ウン

お袋　私のタレはって？

素人　……疲れるのがやっと。

お袋　……口の中の鼻の入り口に玉がある、右内耳の気泡がつぶれてつながり曲線……。どこいくの

素人　トイレ

立ったまま、

素人　泥落としてきてって言ったのに

関所　……。

素人　うん

関所　（見る）

素人　ここ座って、でもそれでは食べないで。
関所　……。
素人　……。
関所　もういっかい眠り玉（ねぎま）、ねぎまください
素人　はいよーっ
お袋　反すう？

　引き戻されます。献身と言いますか、わたしは欲したいんだと、

お袋　クソ蒸すね。机、冷たいよ。

　横で、

素人　目の開いていないとき光は上から下方向へ行くんで、その逆に見えるのは対流なんだよ
お袋　なんて？
素人　ウン
お袋　いや、わたしは返事しますよ

素人　返事をするな！　なぜ返事をする。手でしゃべるな

間。

お袋　ぬれた石ののぞいてる。

間。

お袋　血管きれちゃいますよーぅ（ティクティク）

笑ってしまい、思いますのは、帰りのこと。南洋興発株式会社サイパン島チャランカノア本社事務員だった矢田弥八（本名、矢代正太）が、帰日の途を行き道のようにした婦人雑誌の紀行記。

お袋　五年の在留を隠さないといけない。寝たきりで流動物ばかりなことにする。矢田はまだできないが、師になる長谷川は、墨を入れるイレズミと青を刺すというのを、使い分ける。

関所が「行っていい」とささやき、天気が気にされます。

野次　（咳）

歌いだされそうなだけです。

お袋　フィリピンへ逃げずに書いた戯曲で綺堂賞をもらう明大卒の矢田は「一貫して南洋」で、（習作の「あんぎん・すらたん」も）デビュー作の「ばんさ・ばるう」も、書き込むあらゆる現地語そして歌は、二十六日会の「はりきり会員」であるからにはすべて声に出され、長谷川の耳へ注がれる。新国劇に変えさせられたほうのラストで、恋人たちを島から逃(の)がさない、島の児童のイントネーションの太平洋行進曲。「野の人」では東北のそれしか歌えぬ老婆たちの日清談判。

歌いだされそうなだけです。

素人　頬は目の真下とは思えない

お袋　うん

素人　……。

お袋　……。

素人　……。

お袋　あのヤシはオス？

素人　両方。

お袋　……麦粒症……っ！　私の、このめくれがどこまで続くか。追っていくと見えないところ、宙に体表がある。耳のない豚。くぐっちゃう。ゥフシェッ

素人　クリーニング屋……するか。

チョンパー。

素人　戸のスキマの注文書を取りに行きましょう。

二人一組で行きます。

そのまま休憩をします。

再開

お袋　喋ると腹腰が突きあがってくる、あれは誰の腹、私の茎、歯の茎、ささりたちの届くところは大きくひとつである。痛いところは見なければならないがかゆいところは見なくてもよい。右肩こりを背側、内側に。左腕はすべてを支えているが左手の甲は脇裏を冷やしている。左脚先が右膝裏にゆるく挟まれているがどんどん沈み込んでいく、しかし左膝は決して浮き上がらない。タンク（水槽）にタオルが沈んでるからそのまま踏み、水たまりを跳び越す像。

素人　ボタンいじるのやめてください

お袋　雪みたいなってるよ

素人　肌

お袋　肌

素人　あの窓いっしょに開けない？

お袋　……。

素人　こどもカレーだよ

お袋　こども？

素人　水牛の放尿のように長い時間をかけた

お袋　おっほ
素人　……。
お袋　しみない？（クルッ）
素人　いっからカラカジャ

とても長い間。

素人　あなたのパーム（掌）をわたしに差し出してください
お袋　求めろということです（か）
素人　ペッ
お袋　……。
素人　……つばをのむと人のお腹が痛くなるので

お袋は素人ではなく、見回られております。ジョム（してみないと発音できないので、以下＊＊）が来ています。

素人　どこの泥かって重大ですか？　この泥かって重大ですか？　できることは？
＊＊　（アメリカンに）双目

素人　ないもう

間。

お袋　二つの平行な画板は各ヘソの上にありその背の下に脚がのびている。板の頭ごしに右手のクレヨンだけに動きがある。その前頭部にいるカラスの指、赤いくちばし、羽の先以外は不鮮明である。くちばしに届きそうな奥の女児のまとめた髪。ハシゴの前の原は河であり、そこで子どもたちに追いつこうとしている女が見えていて写している。

＊＊

素人　（見せている）図になっちゃって

＊＊　持ち込もうとしないでください

素人　ここの汚れだもん。……風呂で洗ってよ

＊＊　……。

お袋　……。

素人　……。

＊＊　ごわごわだ

素人　……髪をふり乱し……、塗りつけた腐った魚でなりすます服、避粉の布などともに洗う目にあう。顔に棲んでる小さい虫たち。鼻柱が点滅して右中（みぎなか）の歯が

じゅっとなる。……。みぞおち左が沈み続ける、肋骨の下に棒をはさんだよう

お袋　膝はちゃんと隣の膝の重さに耐えれんのよ。だからきっちり合わせて載せる。手首も。指頭同士をあわせておくのは不自然なので付け根に落ち込む……。

素人　声は一生はやい……。

お袋　視界はどう？　忘れちゃった？

ここらの提供を元手に眼球集めネットワーク（バンク）は始まりますが、

お袋　抜かないでね、私を

鳥のけんかです。

お袋　……。

素人　……。

お袋　内モモをしゅりたくしこみたい……。回転……、バンザイ……。かんねんしたか……！　渋そうな板の舌……。よろこんで、よろこんで……。……エリ芯（カラーステイ）を飲み込みかける……。

関所　就寝中に手をぬるま湯につけると失禁する

間。

お袋　……私も？
素人　……私も？
関所　全員と船に乗る

発現しますと、いずれにせよ。巻き戻っていて、

素人　私がクリーンではないということが未だよく……。
お袋　私を取り巻く布がどうなってるか……。
素人　……蟹の泡を食べさせて。タオルでつくってくれる蟹の泡が私の泡
お袋　テンションは外圧のヒント、でもこれは屁。……お腹をしまわなきゃ

間。

＊＊

（素人に）玉子いくつめだお前は？　母親の卵

ちょっとした休憩

再開

二人一組は解除になっています。

素人　羽の山に飛びこむ！　私をなでた羽は散らばる前ここにあった。硬さを与えると暮らしは変わる。硬さを与える？

やや上に、腰をおろしていく背中が見えます。ミルクの日、

素人　光沢感がすごいね

水。

素人　フォーカスをしなおさなければならなくなるのにまばたきをしてしまう。汗かとおもうがかいていない。小指の脇のささくれは薬指の腹は感じられる。あなたも押し切られることができる。潜水じゃないよぅ、それを言うなら残心でしょ。

間。

素人　私のよだれでまとめたルアーのエレガンスが硬さをよろこび、ハタキをも硬くするだろう。眼を縫うまでのけんかはやめないだろう。私はそれを抜きあさるだろう……。（要するに）クチでトリを育てる……。織物が冷えて、震えがくる。……手首が立っていく……。

スネイクアウト（木登り蛇によるブラックアウト）。
急いで去る姿（脚の着地のたびに尻を落とすと肩も下がり、腕は肘の先だけ大きく振る）、というか来てる姿です。

関所　時を告げたあと……、水没者の居どころを告げたあと……、友引の道連れになったあと……、

間。

関所　私はここよ

間。

関所　見るよ、見る

歌いだされそうなだけです。

素人　アクビを喉奥で。……右向いてたら左肩から転びそうになって、逆に後ろに引かれていって、左ひじが開く。右すねに、左ひざ内側のでっぱりがかかって、止まる。

背後から、

お袋　トイレ行く？

素人　行かない。初めてのカタカナの法律になる。

間。

お袋　じゃぶじゃぶの言い換えだァ。
素人　とにかく働きを輸出する。

間。

お袋　上手ね。でも肉がむれちゃってる。もうわかる。占いだね。
素人　違う。結果です。
お袋　どうして？
素人　寝ている間に運ばれるようなことはないからです。
お袋　何が残ってるの？

間。

素人　……お湯のバカ野郎。

もう風呂しかありません（インキュベーターでもあります）。

素人　（手前で）あなたが私をついばんでいる。私でない場所も。私は私でほじくっている。（間）……赤くなってるな。

間。

素人　食べ物に両手を埋めて、それからはじめる。

終了

特に参考にした箇所のある文献

秋篠宮文仁編『鶏と人――民族生物学の視点から』小学館、２０００年
阿部登『ヤシの葉に書いた文字の物語』阿部博、１９９９年
飯髙伸五「セイネンダンのユーショーキ――日本統治下パラオにおける現地人若年層「動員」の記憶」『高知県立大学文化論叢』４、２０１６年
市瀬正「角膜移植術推進のための献眼運動」『信州医学雑誌』34（４）、１９８６年
太田正雄「シヤム及びフイリツピンに於ける癩療養所」『木下杢太郎全集 14』、岩波書店、１９８２年
葛木晋三「芝居見たまゝ『群島』」『演芸画報』35（５）、１９４１年
Kusaka, Wataru, “Discipline and Desire: Hansen's Disease Patients Reclaim Life in Culion, 1900-1930s”. Social Science Diliman 13 (2), 2017
香西豊子『流通する「人体」――献体・献血・臓器提供の歴史』勁草書房、２００７年
白杉悦雄「冷え性の発見」『近代日本の身体感覚』青弓社、２００４年
杉村春子「桃畑の患者さん」（『日本映画』５（６）、大日本映畫協會、１９４０年）『「日本映画」「映画旬報」17』、ゆまに書房、２００３年
冨山一郎「熱帯科学と植民地主義」『ナショナリティーの脱構築』柏書房、１９９６年
平川宗隆『沖縄トイレ世替わり――フール（豚便所）から水洗まで』ボーダーインク、

２０００年
藤野豊「旧「南洋群島」のハンセン病政策――隔離と虐殺の論理と構造」『思想』１０１２、２００８年
古川誠「性欲主義のイデオローグ――通俗性欲学者とその時代」『彷書月刊』１９２、２００１年
矢代正太「南進日本の生命線・南洋を探る――サイパン島紀行記」『婦女界』61（10）、１９４０年
和辻哲郎『初版 古寺巡礼』筑摩書房、２０１２年
「7億円を集めてタイへ逃亡！――〝超〟女子力オバサン「山辺節子」のお花畑日記（下）」デイリー新潮（週刊新潮 ２０１７年5月4・11日ゴールデンウイーク特大号掲載）（最終閲覧日：２０２０年4月2日） https://www.dailyshincho.jp/article/2017/05120800/
「南洋興発株式会社社員録（『南洋群島案内』大宜見朝徳著 海外研究所発行 昭和十二年発行より）」『沖縄県史 資料編 17（近代 5）（旧南洋群島関係資料）』沖縄県教育委員会、２００３年
「編集後記」『クリオン通信』2、クリオン通信編集部、２０１２年

受賞の言葉

書く上で勝手に示唆を受けた方々はいるものの、お名前を挙げるとかえってご迷惑になるように思うので、ここでは伏せる。

Fさん、Uさん、Mさんに感謝します。

2021年1月24日　羽鳥ヨダ嘉郎

第 20 回 AAF 戯曲賞について

戯曲？とは？何か？

© 北川姉妹

白神ももこ

（演出家・振付家・ダンサー、「モモンガ・コンプレックス」主宰）

東京都出身。自ら作・演出するモモンガ・コンプレックスでは、ダンス・パフォーマンス的グループと名づけ、ダンス的な要素を用いながら世界の端っこに焦点をあてる。モモンガ・コンプレックス以外では、F/T14『春の祭典』（美術：毛利悠子、音楽：宮内康乃）、木ノ下歌舞伎『隅田川』（共同演出：木ノ下裕一、杉原邦生）など。2017年-2018年セゾン文化財団ジュニアフェロー。2019年4月より富士見市民文化会館キラリ☆ふじみ芸術監督。

© 松原豊

鳴海康平

（演出家・「第七劇場」代表）

1979年生まれ。早稲田大学在籍中1999年、劇団を設立。これまで国内24都市、海外4ヶ国8都市（韓国・ドイツ・フランス・台湾）で作品を上演。2004年ロシア、2008年香港にて研修。2012年から1年間、ポーラ美術振興財団在外研修員としてフランスで活動。2014年、三重県津市に拠点を移し、新劇場Théâtre de Bellevilleを開設。2016年から3年間にわたりの台湾と日台国際共同プロジェクトを実施。

©Sakiko Nomura

羊屋白玉

（演出家・劇作家・俳優・「指輪ホテル」芸術監督）

劇場での公演の他、国内外の現代美術の芸術祭に招聘され、サイトスペシフィックな環境で、地域の文脈と独自の表現を絶妙に結びつけ、演劇作品を発表している。他、アジアの女性舞台芸術家たちとのコレクティブ目指す亜女会（アジア女性舞台芸術会議）代表。「東京」をテーマに、看取りや喪失や終焉に関するネガティブなテーマの取り組みをしている。ニューズウィーク日本誌で「世界が認めた日本人女性100人」に選ばれる。など。
www.yubiwahotel.com

©Hisaki Matsumoto

三浦基

（演出家・「地点」代表）

1973年生まれ。99年より2年間、文化庁派遣芸術家在外研修員としてパリに滞在する。2001年帰国、「地点」の活動を本格化。05年、京都へ拠点を移す。著書に『おもしろければOKか？ 現代演劇考』（五柳書院）、『やっぱり悲劇だった「わからない」演劇へのオマージュ』（岩波書店）。10年度京都府文化賞奨励賞受賞。11年度京都市芸術新人賞受賞。13年、本拠地京都にアトリエ「アンダースロー」をオープン。17年、読売演劇大賞選考委員特別賞受賞。

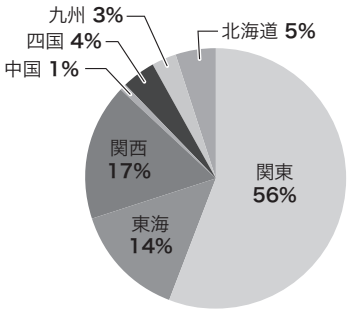
やなぎみわ

（アーティスト）

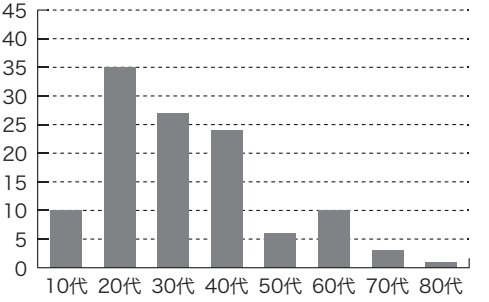
京都市立芸術大学大学院美術研究科修了。学生時代は工芸を専攻。国内外で多くの展覧会を開催。2009年第53回「ヴェネツィア・ビエンナーレ」美術展日本館代表作家。11年から本格的に演劇活動を始め、美術館や劇場で公演した後、15年『ゼロ・アワー東京ローズ最後のテープ』で北米ツアー。16年夏より台湾製の移動舞台トレーラーによる野外演劇『日輪の翼』（中上健次原作）を、熊野をはじめ各地で旅巡業している。2019-2020年、10年ぶりの美術館個展『やなぎみわ展 神話機械』が全国巡回。

第20回AAF戯曲賞　審査データ　応募総数117作品

【応募者居住エリア】



【応募者年齢層】



【一次審査通過作品】

山田くんは就活中。＊　ダドイダイ
リンチ（戯曲）＊　羽鳥ヨダ嘉郎
World Word Web　大竹竜平
丁寧なくらし＊　私道かび
下山と帰国　國見國吉
煙に巻く　中田夢花
NOと言って生きるなら　山縣太一
氷と冬の獣たち　小野彩加、古賀友樹、櫻井麻樹、瀧腰教寛、中澤陽、深澤しほ
掘って100年　尾崎太郎
It's not a bad thing that people around the world fall into a crevasse.＊　モスクワカヌ
明けない夜があったとして　大内郁
鱗を売る店　清水友陽
犀言語＊　高谷誉
仮想クラブ　亀井健

＊戯曲賞ノミネート作品（二次審査通過作品）

【受賞作品】

大賞：リンチ（戯曲）　羽鳥ヨダ嘉郎
特別賞：
It's not a bad thing that people around the world fall into a crevasse　モスクワカヌ

【審査スケジュール】

第20回AAF戯曲賞審査の流れ
2020年
6月1日（月）応募受付開始
7月31日（金）応募受付終了
9月17日（木）一次審査
10月27日（火）二次審査
2021年
1月10日（日）公開最終審査
応募総数　117作品

一次審査、二次審査のレポートはWEBサイトにて公開しています。

左より
三浦基、白神ももこ、モスクワカヌ、やなぎみわ、
羊屋白玉、鳴海康平

戯曲賞関連企画

第20回 AAF戯曲賞 Aichi Arts Foundation Drama Award

2020年12月26日（土）～2021年1月17日（日）
第18回AAF戯曲賞受賞記念公演『朽ちた蔓延る』アーカイブ配信（PIA LIVE STREAM）
戯曲：山内晶、演出：篠田千明

2021年1月9日（土）13：00～17：00　映像配信『朽ちた蔓延る』を観る会
ナビゲーター：篠田千明（『朽ちた蔓延る』演出）、田中博之（映像撮影・編集）

2021年1月10日（日）14：00～　公開最終審査会

【これまでの受賞作】

第１回	『大熊猫中毒』	半澤寧子
第２回	『そばや –so bad year–』	永山智行
第３回	『アナトミア』	小里 清
第４回	『water witch ～漂流姉妹都市～』	スエヒロケイスケ
第５回	『地蔵さんが転んだ』	松田清志
第６回	『塔の上から』	吉村健二（佳作受賞）
第７回	『シアン』	棚瀬美幸（佳作受賞）
第８回	『船酔いバッハ』	菅野直子
第９回	『金色カノジョに桃の虫』	サリngROCK
第10回	『どこか行く舟』	室屋和美（佳作受賞）
第11回	『虫』	市原佐都子
第12回	『豆』	平塚直隆
第13回	『パブリックイメージリミテッド』	萩原雄太
第14回	『茨姫』	水都サリホ
第15回	『みちゆき』	松原俊太郎
第16回	『それからの街』	額田大志
第17回	『シティⅢ』	カゲヤマ気象台
第18回	『朽ちた蔓延る』	山内晶
第19回	『ねー』	小野晃太朗
第20回	『リンチ（戯曲）』	羽鳥ヨダ嘉郎

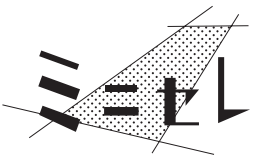
第21回AAF戯曲賞の応募受付は2021年６月～７月を予定しています。
過去受賞作品冊子及び受賞記念公演映像は、愛知芸術文化センター内アートライブラリーにて収蔵・公開しています。

第19回AAF戯曲賞受賞記念公演

『ねー』

作　　小野　晃太朗
演出　今井　朋彦

愛知県芸術劇場 小ホール
2021年11月21日～23日



愛知県芸術劇場ではブラックボックスで可変式の小ホールの特性
を生かし「先駆的・実験的」な作品を創造・発信していきます。

第20回AAF戯曲賞受賞記念公演

『リンチ（戯曲）』

作　羽鳥ヨダ嘉郎

愛知県芸術劇場 小ホール
2022年度 公演予定

令和2年度愛知県文化振興事業団戯曲コンクール
第20回AAF戯曲賞受賞作品

『リンチ（戯曲）』

発行日――令和３年３月
著　者――Ⓒ羽鳥ヨダ嘉郎
発　行――愛知県芸術劇場（公益財団法人愛知県文化振興事業団）
〒461-8525　名古屋市東区東桜１丁目13番２号
（愛知芸術文化センター内）
TEL 052-971-5609
FAX 052-971-5541
https://www-stage.aac.pref.aichi.jp
印　刷――株式会社日総研印刷

＊本文・写真の無断転載・放送を禁じます。